

報道関係各位
プレスリリース

2026 年 7 月 24 日
株式会社 Liberaware

下水道管路内の「No Entry 点検」を高度化 距離・傷測定機能を搭載した新型ドローン「IBIS2 Chainage」を発売 ～IBIS2 シリーズ最新モデル～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役 関 弘圭、以下「当社」）は、老朽化が進む下水道等の屋内インフラ点検において、作業員の安全確保と調査効率の向上を両立すべく、既存の IBIS2 シリーズの機能はそのままに、距離測定機能・傷測定機能・報告書作成機能を新たに搭載した最新モデル「IBIS2 Chainage^{※1}（以下、IBIS2 C）」を本日 2026 年 7 月 24 日より発売開始します。

※1：Chainage(チェイネージ)は、主に土木・測量分野で使われており、鉄道・道路・トンネル・管路など線状インフラの現場において「中心線に沿って測量・記録された距離（地点）」を示す言葉



■開発背景

近年、下水道をはじめとするインフラでは老朽化に起因する道路陥没等の事故リスクが増大しています。2026 年 7 月 15 日には参議院本会議にて「改正下水道法」が可決・成立されました^{※2}。本改正法では、老朽化の状況を正確に把握するため、下水道管を点検する際の診断基準を明確化し、自治体には点検の結果や対策の状況を公表するよう義務付けており、今後はより透明性と精度の高い点検データの蓄積が、維持管理において不可欠となります。

当社はこれまで、ホバリングアシスト機能による安定飛行を可能にした狭小空間点検ドローン「IBIS2 Assist」を提供してきましたが、目視外飛行を伴う管内点検においては、地上でモニターを確認する操縦士や現

場関係者が機体の現在位置を客観的に把握しにくいことに加え、撮影後の動画データにも距離に関する情報が記録されないため、異常箇所的位置把握が困難であるという課題がありました。

今回発売する「IBIS2 C」は、これらの課題を解消し、人が下水道管路内に立ち入らない点検・調査「No Entry」を高度化するために開発したモデルです。従来のサイズ・重量・制御技術を維持しながら、「距離測定機能」と「傷測定機能」が新たに搭載されたことにより、GPS の届かない地下空間でも、異常箇所の位置と傷の大きさをデジタルデータとして記録できます。

これにより、作業員が管内に立ち入ることなく、より精度の高い修繕計画の策定を支援し、インフラ維持管理の安全性と効率性の向上に貢献します。

※2：（参考）参議院公式 HP：<https://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/gian/221/meisai/m221080221038.htm>

■特徴

①距離測定機能 ※3

パイロット用モニターに、アンテナユニットから飛行中の機体までの距離をリアルタイムで常時表示します。また、飛行終了後に機体から抜き出した保存データにも距離情報を付与することで、撮影映像と距離情報を紐づけて確認できます。

※3：下水道環境に最適化されたものであり主に下水道内での利用を前提としています

②傷測定機能

当社が提供する撮影データ管理アプリ「IBIS Plus」上で、撮影した対象物の寸法を測定することが可能です。例えば、画面上に映る傷を指定すると、距離センサーに基づき推定した長さを表示します。

距離測定機能で表示する機体の位置情報も同じ画面上で確認できるため、傷の位置と大きさを一体的に把握できます。撮影距離 500mm(50cm)において最小 1mm 幅測定可能です※4。

※4：効果・精度は利用環境により異なります。数値は当社実験環境における実測値です。

③報告書作成機能 ※5

取得した距離データや傷の画像等は、「IBIS Plus」から即座にレポートとして出力できます。画像を任意の順序で配置できるため、従来の報告書作成業務を効率化し、作成時間の短縮に貢献します。

※5：本機能はソフトウェアのアップデートにより既存の IBIS ユーザーも利用できます。ただし、上記①および②の機能は、「IBIS2 C」で撮影した動画データのみ対応しています。

「IBIS2 Assist」の基本性能を標準装備しています。詳細は下記製品サイトをご覧ください。

■製品サイトおよびプロモーションムービー

- ・製品ページ：<https://liberaware.co.jp/lp/ibis2-c/>
- ・プロモーションムービー：https://youtu.be/u1_kb1fGICo

■「下水道展'26 東京」出展情報

下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器、サービス等の展示・紹介をする下水道分野における国内最大の展示会「下水道展'26 東京」に出展します。会場では「IBIS2 C」をご紹介します。ぜひ当社ブースへお立ち寄りください。

【概要】

- ・日時：2026年8月4日（火）～8月7日（金）
 - ・会場：東京ビッグサイト（りんかい線「国際展示場駅」下車徒歩約7分、ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」下車徒歩約3分）
 - ・住所：〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1
- ※株式会社 Liberaware のブースは東京ビッグサイト西展示棟 1F No Entry 管路診断ゾーン「AT-601」です。

■ウェビナー開催のご案内

「IBIS2 C」の機能や活用方法を紹介するウェビナーを開催します。下記フォームよりお申し込みください。

【概要】

- ・タイトル：「No Entry で測る」新型 IBIS2 Chainage がもたらす下水道点検 DX
- ・日 時：2026年7月31日 15時～
- ・形 式：オンライン（zoom）
- ・お申込みフォーム：

https://liberaware.zoom.us/webinar/register/1017847804247/WN_yT7SIYpRTG6X3i3M4GcPvA#/registration

■「IBIS2 Chainage」製品仕様

<機体性能>

機体名	IBIS2 Chainage（アイビスツー チェイネージ）
外形寸法	194mm×198.5mm×58mm
重量	246g(機体：153g、バッテリー 93g)
最大飛行時間	12分(ペイロード未搭載時) 10分(ペイロード 40g 搭載時)
ペイロード	最大 40g
防水防塵性能	IP51 規格
最大飛行可能風速	3m/s
ヘッドライト	2基：合計 380lm /5段階調光
アシストモードセンサ	IMU、気圧、上下方向 ToF
距離センサ	ToF 方式 4基(前後上下方向)
動作雰囲気温度	-5～60℃
フライトコントローラー	リベラウェア製
機体距離測定精度	±3.2m(1σ) ※マルチパスが発生しない環境のみ。 ※当社試験環境での測定結果であり、数値を保証するものではありません。

<インテリジェントバッテリー性能>

種類	リチウムポリマー電池
定格電圧	11.1V
セル数	3
定格容量	1200mAh

<カメラ性能>

画角	垂直:80.1°水平:131.0°対角:143.9°
解像度	1920x1080
フレームレート	60FPS
イメージセンサ	STARVIS, 1/2.8 型
F 値	2.0
録画時間	90 分
映像圧縮方式	MP4(H.264)

<電波仕様>

周波数（操縦）	2.4GHz(2404Mhz-2479Mhz)
周波数（映像）	1ch : 5665MHz 2ch : 5685MHz 3ch : 5705MHz 4ch : 5725MHz 5ch : 5750MHz

<その他>

付属品	エクステンションアンテナ含む操縦用機器一式
製造国	日本

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会 社 名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代 表 者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所 在 地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設 立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
- ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
- ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業

U R L：<https://liberaware.co.jp/>

X アカウト：<https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL：090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com